1 施設状況

| ①施設名 | | |
|-----------------------|-------------|-----|
| ②病床数 | | 床 |
| ③病院分類 | □大学病院本院 | |
| | □DPC特定病院群 | |
| | □DPC標準病院群 | |
| | □一般病院 | |
| | □療養型病院 | |
| | □精神科病院 | |
| | □ケアミックス | |
| ④薬剤師数 | | 人 |
| ⑤病棟業務実施加算の届出状況 | □届出すみ | |
| | □施設基準が満たせない | |
| | □届出の予定は無い | |
| | □対象病床がない | |
| ⑥2023年度月平均の薬剤管理指導算定件数 | | 件/月 |

2 認定・専門薬剤師について

| 2 認定・専門楽剤師について | |
|---|------|
| ①一覧に掲載される認定・専門薬剤師がいますか〔別紙参照〕 | □いる |
| (日本医療薬学会)がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、薬物療法専門薬剤師、薬物療法指導薬剤師 | □いない |
| (日本病院薬剤師会)がん薬物治療専門薬剤師、がん薬物治療認定薬剤師、感染制御専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、 | |
| 精神科専門薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦専門薬剤師、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、HIV感染 | |
| 症専門薬剤師、HIV感染症薬物療法認定薬剤師 | |
| (日本臨床腫瘍薬学会)外来がん治療専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師 | |
| (日本化学療法学会) 抗菌化学療法認定薬剤師 | |
| (ICD制度協議会) ICD | |
| (日本腎臟病薬物療法学会) 腎臓病薬物療法専門薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師 | |
| (日本薬剤師研修センター)小児薬物療法認定薬剤師、漢方・生薬認定薬剤師 | |
| (日本緩和医療薬学会)緩和医療暫定指導薬剤師、緩和医療専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師 | |
| (日本糖尿病療養指導士認定機構) 日本糖尿病療養指導士 | |
| (日本栄養治療学会)NST専門療法士(薬剤師) | |
| (日本褥瘡学会)日本褥瘡学会認定師 (薬剤師) | |
| (日本医薬品情報学会) 医薬品情報専門薬剤師 | |
| (日本医療情報学会) 医療情報技師 | |
| (日本プライマリ・ケア連合学会) プライマリ・ケア認定薬剤師 | |
| (日本臨床救急医学会) 救急認定薬剤師 | |
| (日本アンチ・ドーピング機構) スポーツファーマシスト | |
| (日本核医学会)核医学認定薬剤師 | |
| (日本高血圧学会・日本循環器病予防学会・日本動脈硬化学会・日本心臓病学会)循環器病予防療養指導士 | |
| (日本循環器学会)心不全療養指導士 | |
| ②学位取得者(博士課程)はいますか | □いる |
| | □いない |
| | |

3 チーム医療への参画

| ①現在参画しているチーム医療についてお答えください | □感染制御チーム | 時間/週 |
|---------------------------------------|----------------|------|
| (複数回答可) | □抗菌薬適正使用チーム | 時間/週 |
| ②各チームでの1週間当たりの延べ活動時間についてお答えください | □NST | 時間/週 |
| | □緩和ケアチーム | 時間/週 |
| | □糖尿病療養指導 | 時間/週 |
| | □糖尿病透析予防診療チーム | 時間/週 |
| | □移植チーム | 時間/週 |
| | □ウイルス疾患チーム | 時間/週 |
| | □褥瘡対策チーム | 時間/週 |
| | □周術期管理チーム | 時間/週 |
| | □術後疼痛管理チーム | 時間/週 |
| | □呼吸サポートチーム | 時間/週 |
| | □□腔ケアチーム | 時間/週 |
| | □摂食嚥下支援チーム | 時間/週 |
| | □精神科リエゾンチーム | 時間/週 |
| | □認知症ケアチーム | 時間/週 |
| | □その他 () | 時間/週 |
| ③中央部門において薬剤師を配置している部署についてお答えください | □手術室 | 時間/週 |
| (複数回答可) | □放射線部門 | 時間/週 |
| ④各部署での1週間当たりの延べ活動時間についてお答えください | □透析部門 | 時間/週 |
| | □内視鏡室 | 時間/週 |
| | □外来 | 時間/週 |
| | □外来がん化学療法室 | 時間/週 |
| | □検査室 | 時間/週 |
| | □その他 () | 時間/週 |
| ⑤薬剤部として、専門・認定薬剤師をどの程度チーム医療へ配置できていますか。 | □かなり (70%以上) | |
| | □ある程度(50%程度) | |
| | □最小限(20~30%程度) | |
| | □配置できていない | |

4 医政発0430第1号|医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」(平成22年4月30日)

薬剤師を積極的に活用することが可能な業務について実施している項目を選択してください (複数回答可)

- ① 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合 □③患者状態把握・服薬指導を介した薬学的管理 | 意されたプロトコールに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること。
- ② 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方を提案すること。
- ③ 薬物療法を受けている患者(在宅の患者を含む。)に対し、薬学的管理(患者の副作用の状況の把握、服薬指導等) を行うこと。
- 4 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対 し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること。
- ⑤ 薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること。
- ⑥ 外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管 理を行うこと。
- ⑦ 入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行 うこと。
- ⑧ 定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること。
- ⑨ 抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと。

| ш | 4 | | וכ | IVI | 0) | $\overline{}$ | وبالربلا | ' | |
|---|---|---|----|-----|----|---------------|----------|----|--|
| | 2 | 積 | 極 | 的 | な | 셏 | 功 | 提案 | |
| | _ | | | | | | | | |

□①DRDMの宝珠

- □④副作用の確認と医師への伝達 □⑤経過観察と継続処方の提案
- □⑥外来がん化学療法における薬学的管理
- □⑦持参薬の確認と服薬計画の提案
- □⑧リフィル処方対応
- □⑨抗がん剤、TPN等の無菌調整

5 薬剤師業務

| ①「入院患者」に対する薬学的管理指導はどの程度実施していますか。 | □かなり (70%以上) | | |
|--|--------------------------|--|--|
| | □よく(50%程度) | | |
| | □ときどき (20~30%程度) | | |
| | □実施していない | | |
| ②入院「前」患者に対する薬学的管理指導はどの程度実施していますか。 | □かなり (70%以上) | | |
| | □よく(50%程度) | | |
| | □ときどき (20~30%程度) | | |
| | □実施していない | | |
| ③「外来患者」に対する薬学的管理指導はどの程度実施していますか。 | □かなり(70%以上) | | |
| | □よく(50%程度) | | |
| | □ときどき (20~30%程度) | | |
| | □実施していない | | |
| ④薬剤師による「処方オーダーの代行入力」は実施していますか。 | □している、一部している | | |
| | □していない | | |
| ⑤薬剤師による「処方修正の代行入力」は実施していますか。 | □している、一部している | | |
| | □していない | | |
| ⑥薬剤師による「処方削除の代行入力」は実施していますか。 | □している、一部している | | |
| | □していない | | |
| ⑦薬剤師による抗がん剤調製(ミキシング)は、どの程度実施していますか。 | □原則すべて対応 | | |
| | □診療時間内(休日時間外は除く)は、薬剤師が対応 | | |
| | □一部対応している | | |
| | □実施していない | | |
| ⑧薬剤師によるTPN等の無菌調製は、どの程度実施していますか。 | □原則すべて対応 | | |
| | □診療時間内(休日時間外は除く)は、薬剤師が対応 | | |
| | □一部対応している | | |
| | □実施していない | | |
| ⑨治療薬物モニタリング(TDM)業務において、「採血オーダー」の代行入力は実施していますか。 | □している、一部している | | |
| | □していない | | |
| ⑩医薬品の発注や在庫管理業務は、主にどの部門・職種が実施していますか。 | □薬剤師 | | |
| | □薬剤部内助手、補佐員などの職員 | | |
| | □病院内事務部門職員 | | |
| | □SPD等外部委託業者 | | |
| | □その他 () | | |

| 日本病院薬剤師会「外来患者への薬剤師業務の進め方と具体的実践事例」(平成30年2月10日) | |
|--|-------------------------------|
| 具体的実践例として示された①~⑬の事例について、ご施設で取り組まれている事例について選択してください | □①がん |
| (複数選択可) | □②糖尿病 |
| | □③認知症 |
| | □④循環器 |
| | □⑤慢性腎臓病 |
| | □⑥喘息・慢性閉塞性肺疾患 |
| | □⑦関節リウマチ |
| | □⑧C型肝炎 |
| | □⑨HIV感染症 |
| | □⑩周術期 |
| | □⑪妊婦・授乳婦 |
| | □⑫救急 |
| | □⑬ポリファーマシー |
| | □⑭該当なし |
| 薬剤師の確保について(チーム医療) | , |
| チーム医療への参画するにあたり薬剤師の増員がありましたか | □1~2人 |
| | □3~5人 |
| | □6~10人 |
| | □10人以上 |
| | □増員はない |
| 薬剤師の確保について(タスクシフト) | |
| タスクシフトによる薬剤部業務の拡大をするにあたり薬剤師の増員がありましたか | □1~2人 |
| | □3~5人 |
| | □6~10人 |
| | □10人以上 |
| | □増員はない |
| 課題について | , |
| チーム医療への参画、タスクシフトを実践するにあたっての課題についてお答えください | □薬剤師のマンパワーが不足している |
| (複数選択可) | □時間の確保ができない |
| | □院内マニュアルの策定ない |
| | □認定・専門薬剤師がいない、不足している |
| | |
| | □他職種からの要望がない |
| | □他職種からの要望がない □他部署の理解が得られない |
| | |